

のせ通信

株式会社 能勢建築構造研究所



『長谷寺 五重塔より』

のせ通信

二〇一六年夏 第十号

目次

- 諫早眼鏡橋に行ってきました
- 自己紹介
- EURO2016
- 社内旅行速報 「まるごと緑を感じる旅」
- 新メンバー紹介
- 見えます？映画。(連載コラム)

EURO2016

EURO2016というタイトルですが、イギリスが加盟国から脱退するお話ではありません。UEFA欧州選手権といって、サッカーの国際大会です。ヨーロッパで一番強い国を決める大会です。ワールドカップ同様、4年に1度開催されます。開催期間は約一ヶ月で、全51試合が行われます。

だがしかし、ヨーロッパから遠く離れた日本では、高視聴率が取れないのか、地上波では12試合のみの放送なのです。

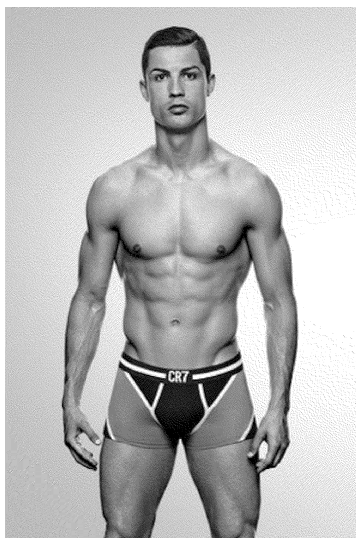
小学一年から大学卒業までサッカーをしていた私は、今でも社会人サッカーチームに参加し、月1回程度体を動かしています。足りません。もっとサッカーしたいんです。そうはいつてもなかなか時間の作り方が難しく、一人できないスポーツということもあります。なので選手でいるうちはそこまで「観る」ことに関しては興味がありませんでしたが、最近では観戦に力が入っています。Jリーグも観ます。海外(イングランドやスペイン、ドイツなど)のリーグと比較して、展開スピードは劣りますが、ここ数年でかなりおもしろくなってきています。また、日本人が海外に進出することで、海外リーグのテレビ放送が増えています。

なのにEURO2016は地上波12試合。まだまだ日本の文化にサッカーは根付いていないのでしょうか。WOWOW入りしました。全51試合放送してくれませう。簡単にではありませんが、私なりの今大会の見所を紹介しましょう。この文章をみなさんに読んで頂く頃には全日程が終了していますが・・・

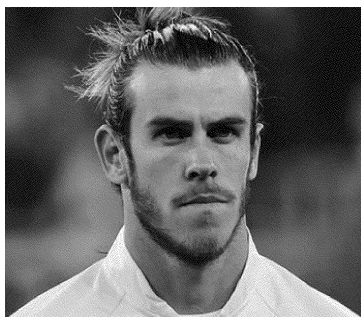
まず、良い選手が旬を迎えています。さらに超新星もちらほら。レジェンド選手の公式国際大会はこれで最後か！などです。 ※選手名(国) 【年齢】で表記

私の中のサッカー選手の旬は、ポジションにもよりますが25〜32歳です。わかりやすいところでは、世界一の選手といっても過言ではない、CR7ことクリスティアーノ・ロナウド(ポルトガル)【31】が旬です。技術と肉体のバランスが最高です。ただ、国際大会では往々にして不光に終わる星。今度こそ輝いて欲しいです。

次はギャレス・ベイル(ウェールズ)【26】この人は元々守備の選手でしたが、ドリブルスピードが尋常じゃないので今では世界一のクラブチームで攻撃の選手として活躍しています。ベイルはまだ若く、次回EURO時も30歳で旬ですが、ウェールズという国自体があまり強くない、次回予選突破できるか微妙と踏んでいます。で見逃したくない選手です。また、この二人は同じクラブチームに所属しています。あまり仲が良くないという噂もあります。もしもこの二人の直接対決があるものなら・・・ブライドをかけて、俺の方が上だ的な戦いが・・・興奮します。楽しみです。そのほか、アントワヌ・グリーズマン、トマス・ミュラー、ロベルト・レヴァンドフスキ、マリオ・マンジュキッチなど、挙げれば切りがありません。サッカーの大きな大会があると、サッカー好きの社員で得点王予想をします。今挙げた彼らのいずれかがなるでしょう。私の押しメンはマンジュキッチです。

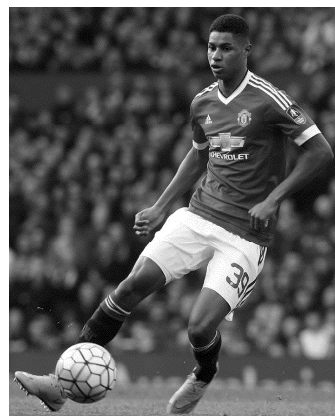


↑CR7 ↓ベイル



超新星は3人ほど。マークス・ラッシュフォード(イングランド)【18】、レナト・サンチェス(ポルトガル)【18】、ポール・ポグバ(フランス)【23】です。ラッシュフォードはマンチェスターUというビッグクラブで、ゴールも決めており、私も何度かプレーを観ましたが、良いです。観ていて楽しい身体能力とテクニックです。レナトはあまり知りませんが、前述のCR7に怪物と言わしめたとか。観てみたいので挙げておきます。二人ともまだまだ荒削りではありますが、これから追いかけてみようと思います。ポグバは2年前あたりからクラブチームで大活躍しており、超新星と言っには失礼かもしれませんが、大きな国際大会はこれが初めてなの

でこの枠での紹介としました。観たらわかる、すごいやつです。これからしばらくは間違いなく彼の時代がくるでしょう。



左 レナト サンチェス 右 ラッシュフォード
下 ポグバ

最後にレジエンド偏。まだまだガンバって欲しいですが、ええ年の選手。まずはトーマス・ロシツキー(チェコ)【35】かつてはリトルモーツアルトの異名で、チームのタクトを振っていた天才プレイヤー。近年はケガに悩まされていますが、今大会には背番号10で登録されています。次に、ジャンルイジ・ブツフォン(イタリア)【38】言わずも知れたイタリアの守護神です。ゴールキーパーの寿命は比較的に長いのでまだ引退はしないかもしれませんが、いつか最後でも良いよう、覚悟しています。最後に、自他共に認める「神」、ズラタン・イブラヒモビッチ(スウェーデン)【34】様です。4つのリーグで優勝を経験し、3度も得点主になっている彼は、

かつ良い言葉もたくさん残っています。スウェーデン史上最も偉大なスポーツ選手ランキングの結果、二位だった時「自分のリストでは一位から五位までは俺だ。」また、W杯予選で敗退した際「一つだけ確かなことは、俺のいないW杯など、見る価値のないものだということだ。」などなどまだまだありますが、割愛します。

ほんの一部でしたが、注目選手を挙げてみました。

他にも、国として優勝候補は、EURO 3連覇のかかったスペイン、W杯優勝のドイツ、自国開催のフランス、世界サッカーランキング2位(1位はアルゼンチン)のベルギーなど、やはり12試合ではとうていカバーできない好カード目白押しです。原稿を書いている間に、大会が終わってしまいました・・・寂しい・・・

見所紹介というコンセプトで書きはじめましたが、せっかいです。簡単に結果もお伝えします。最後までおつきあい下さい。

まず、始まってみるとまあ予想を覆す展開がわんさか。ベルギーVSイタリアなどは、ベルギーはどれほどファンタスティックに勝つのかと思っていましたが0-2で負けてしまいました。イタリアは今大会が史上最もタレント不足といわれていたにもかかわらず、とてもファンタスティックな試合をしました。CR7率いるポルトガルは優勝しましたが、グループ予選から90分での勝利は1回のみ。公式記録は1勝6分けでの優勝です。決勝はいい試合をしていましたが、その他の試合内容はあんまり良くなかったです。今大会は弱小国といわれたチームの躍進が印象に残る大会でした。

(とはいっても日本よりは強いですが。)ウエールズ、北アイルランド、アイスランドなど、予選突破も無理だろうと言われたチームが頑張って決勝ラウンドに駒を進めました。サッカーはジャイアントキリングが起こりやすいスポーツです。弱が強を食らう、その瞬間にテレビ画面を通してでも立ち会えたことは幸せです。総評として、やはりサッカーは守備が大事であると感じました。イタリアの守備陣や、ポルトガルの守備陣など、この縁の下の力持ちがチームの躍進に貢献したのは間違いありません。まだまだ書きたいところですが、このままでは何十頁にも及ぶためここでやめておきます。サッカー好きの方は是非お声かけ下さい。朝まで語り明かしましょう。